

令和2年度 第4回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和3年3月8日（月曜日）午後3時から午後4時30分まで
 会場 家の光会館 コンベンションホール

出席者 吉川委員長、宮田副委員長、浅野委員、三瓶委員、小出委員、会田委員、久保委員、樋口委員、渡辺委員、橋爪委員、犬飼委員、清水委員
 12名出席（秋谷副委員長、奥秋副委員長、相良委員 3名欠席）

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他5名
 公益財団法人総合健康推進財団職員 2名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況確認 秋谷副委員長、奥秋副委員長、相良委員が都合により欠席 ・資料確認 次第 資料1 令和2年度サービス管理責任者等研修検討会 活動報告（案） 資料2 令和3年度実践研修タイムスケジュール（案） ・本日は、記録のための録音をさせていただくこと、また、今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページでの公開対象であることについてご了承いただきたい。ただし、資料については、出席委員の意見により非公開とすることもできる。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 議事確認

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事について確認する。 ・1点目は、年間のまとめ 令和2年度サービス管理責任者等研修実施報告、各研修チーム活動報告、リーダーの姿Ver.4についてのブラッシュアップをしていただきたい。各研修チームの活動については、各研修チームリーダーから活動報告をいただきたい。 ・2点目は、令和3年度に向けての引継ぎ事項の確認について協議をしていただきたい。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 検討事項

(1) 年間のまとめ

①令和2年度サービス管理責任者等研修実施報告

吉川委員長	・事務局より令和2年度サービス管理責任者等研修実施状況について報告をいただきたい。
公益財団法人総合健康推進財団	<第1回基礎研修> ・募集期間は、6月8日（月曜日）から6月22日（月曜日）まで。 ・募集定員は、700名のところ、申込者数は、1,414名であった。受講定員を17名追加し、717名の受講者を決定した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は、動画配信で行った。配信期間は、8月20日（木曜日）から8月31日（月曜日）まで。 ・演習は、9月7日（月曜日）から10月30日（金曜日）まで、計10日程で実施した。修了者数は673名となった。 <p><第2回基礎研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間は、8月24日（月曜日）から9月7日（月曜日）まで。 ・募集定員500名のところ、申込者数1,086名があり、550名の受講者を決定した。 ・講義は動画配信で行った。配信期間は、11月6日（金曜日）から11月17日（火曜日）まで。 ・演習は、11月24日（火曜日）から12月23日（水曜日）まで、計8日程で実施した。修了者数は519名となった。 <p><更新研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間は、10月20日（火曜日）から11月4日（水曜日）まで。 ・募集定員840名のところ申込者数1,499名あり、受講者及び演習指導者を含めて879名を受講決定した。 ・講義は、動画配信で行った。配信期間は1月6日（水曜日）から1月7日（木曜日）まで。 ・演習は、1月12日（火曜日）から2月3日（水曜日）まで、計14日程で実施した。修了者数は821名となった。 <p><フォローアップ研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間は、12月9日（水曜日）から12月23日（水曜日）まで。 ・全て講義による動画配信で行う。 ・配信期間は、2月24日（水曜日）から2月26日（金曜日）まで。 ・修了者数は84名となった。
事務局	<p><演習指導者養成研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講申込者は10名 ・1日目は、10月28日（水曜日）に、集合型の講義を行った。 ・2日目は11月9日（月曜日）に行った。第2回基礎研修のファシリテーター説明会に参加した。その後、第2回基礎研修に演習指導者として参加していただいた。 ・3日目は、12月25日（金曜日）に行った。第2回基礎研修の演習の振り返りをした。受講者10名は全日程を受講し修了した。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのところで質疑応答をいただきたい。 ・質問がないため、令和2年度サービス管理責任者等研修実施報告を終了する。

②各研修チーム活動報告

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に各研修チームリーダーから活動の報告をいただきたい。 ・奥秋副委員長と秋谷副委員長が欠席のため、基礎研修は久保委員、更新研修は会田委員から報告をお願いします。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修チームでは、令和元年度の演習ノートを見直し、ブラッシュアップを図った。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた演習に対応する進行スライドを完成させた。 ・研修の教室進行・ファシリテーターを対象に、ファシリテーター説明会を実施し、研修の内容と研修におけるファシリテーターのポイントを伝えた。研修後、振り返り会を実施し、次年度の教材作成に向けて情報収集をした。
会田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・更新研修チームでは、令和元年度の演習ノートを見直し、ブラッシュアップを図った。演習はグループワークが中心であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として講義部分は動画配信とした。 ・12月25日（金曜日）にファシリテーター説明会を行い、教室進行・ファシリテーターを対象に研修の内容とファシリテーションのポイントを伝えた。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研修チームでは、8月に行われた国の指導者養成研修で伝達された内容をもとに、来年度に向けて実践研修の企画を検討し、タイムスケジュール案と演習ノートを作成した。タイムスケジュール案は、国で示された内容にそって、講義は1日、演習は2日間となっている。国のカリキュラムで示されている時間数を押さえて作成した。 ・国のカリキュラムの順番で進めると受講者がわかりにくいところがあるので、東京都の研修は、プログラムの順番を変えた。 ・内容は、サービス提供職員等への助言指導、ケースカンファレンス、個別支援会議の運営方法、モニタリングの方法が重視されている。また、地域連携がポイントとなっている。 ・国の研修で示された実践研修の内容を踏まえて、「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿V e r . 3」の実践研修のねらいについて検討し、V e r . 4に向けて案を作成した。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのところで質疑応答をいただきたい。 ・質問がないため、各研修チーム活動報告を終了する。

③リーダーの姿V e r . 4について

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修で活動している内容を踏まえて、「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿V e r . 4」（案）に向けて実践研修のねらい等を整理し、文言を修正したので事務局から説明をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2月1日（月曜日）から2月16日（火曜日）までの間に検討会のメーリングリストで意見交換を行った。その中で挙げられた提案と事務局からの修正点を説明する。 ・一つ目は、宮田副委員長から説明があった実践研修のねらいの修正を提案したい。今年度、国の研修で示された内容とこれまでのねらいを踏まえて検討した。 ・まず、大きなねらいとして、「事業所内・地域を含めて、支援の質を高め

	<p>るチームをつくる」とし、具体的なところは、①チームづくりのために、事業所職員への助言指導、環境整備をする②利用者、職員、事業所、地域のアセスメントをする③事業所内、地域や関係機関の連携・チームづくりをする④得られた情報を多角的な視野でまとめるとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つ目は、東京都独自の研修として実施してきたフォローアップ研修は、令和2年3月31日付国要綱の改正に伴って専門コース別研修とし、実施することになった。そのため、フォローアップ研修の文言を専門コース別研修に修正した。研修のテーマは、これまでは領域別の知識として、子どもの発達等に焦点を合わせて実施してきたが、国の要綱は意思決定支援がカリキュラムとして示されていることを踏まえ、専門コース別研修から領域別の知識と共通の知識にも矢印を伸ばした。 ・三つ目は、「作る」という文言を全てひらがなに統一し、修正することとした。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのところで質問があればいただきたい。 ・基本姿勢にある権利擁護で「内在する能力」とあるが、誰の能力なのか、示していないのでわかりにくい。利用者主体・地域生活支援の文言に合わせて、「利用者」を加筆した方がよい。
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本姿勢の「地域生活支援」は、当事者支援の内容になるので「利用者」の文言を削除した方がよい。また、「利用者の幸せ」は、子どもを中心とした家族の幸せも含まれているので文言を修正した方がよい。 ・実践研修のねらいの中のチームづくりについて、①では、「チームづくりのために、事業所職員への助言指導、環境整備をする」、③では、「事業所内、地域や関係機関の連携・チームづくりをする」と示されている。チームづくりの違いがわかりにくい。入職5年目に期待する姿を想定し、①と③のチームづくりについての説明をいただきたい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・国の研修では、「チームづくり」についての説明が繰り返しあった。実践研修をまとめていく中でチームづくりは大事と考え、事業所内のチームづくりだけではなく外にも目を向けるように地域でのチームづくりも必要とした。チームづくりだけではわかりにくいので、事業所内・地域を含めて、小さいチームづくりから大きなチームづくりを意識して、「チームづくり」とした。違いがはっきりする表現を検討したいので時間をいただきたい。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討するにあたり、事務局はタイムスケジュールをどのように考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で決めていただきたい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・③の冒頭にある「事業所内」を削除し、「地域や関係機関の連携・チームづくりをする」に修正したいがいかがか。
各委員	承認
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・清水委員から、基本姿勢の「地域生活支援」は、子どもや家族も含まれているとご意見があったがいかがか。
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> ・望む地域で、本人が思う幸せで生きてほしいという内容が盛り込まれていればよい。基本姿勢の「地域生活支援」については、「望む地域で幸せに生きていくことをサポートする」に修正したいがいかがか。

各委員	承認
-----	----

(2) 令和3年度に向けての引継ぎ事項の確認

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各研修の進捗状況を踏まえて、議題と思われること及び令和3年度に向けての引継ぎ事項の確認をしていただきたい。これから、各研修チームの検討時間とする。チーム検討にあたっての注意事項を事務局から説明いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 吉川委員長から説明があったように各研修チームに分かれて検討していただく。検討していただきたい内容は次の二つである。一つ目は、研修の内容ではなく、今年度チームで活動してよかったところ、課題と思われるところを挙げていただきたい。二つ目は、来年度に引き継ぐことで早急に取り組まなければならないことを確認していただきたい。
	チームごとに検討（記録省略）
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ここからは各研修チームからの検討内容報告の時間とする。基礎研修について、久保委員から報告をいただきたい。
久保委員	<ul style="list-style-type: none"> 当日の進行のスライドは大量になってしまった。 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により打合せができなかったため、チームのメーリングリストにより共有化を図ったが限界があった。今後は、リモート等を活用し、進めていくのがよい。 ファシリテーターの反省会で挙げられた内容をどこまで変えていったらよいのか課題であるが、ファシリテーターの意見を聞きながらブラッシュアップしたことにより、第1回の研修と比べると第2回の研修は評価が高かったのもよかった。 次年度に向けては、グループワークをやりたいという意見を含め、4つの課題が挙げられた。 <ol style="list-style-type: none"> 基礎研修の演習はグループワークで行うべきではないか 他に演習方法があるのか 支援会議の演習方法に疑問 ニーズの整理票の演習はグループワークがよいのではないか ファシリテーターと教室進行でやりとりをしていく中で、ファシリテーターが修正が必要と思ったときにどのように対応すべきか。感染防止対策によりグループワークができないため、一方通行になってしまうことが気になった。来年度も感染防止対策による研修となると思われるが、グループワークができるとよい。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> 更新研修・演習指導者養成研修については、会田委員から報告をいただきたい。
会田委員	<ul style="list-style-type: none"> はじめに演習指導者養成研修の検討内容を報告する。1日目の外部講師の話は専門性が高く、研修内容はとてもよかった。1日目の後半の講義では、新しくファシリテーターになる方に何を求め、何をしたらよいのかわかるように説明した。理論と実践の構成はよかったので引き続き行いたい。 ファシリテーターになった方が、今後どのようなキャリアデザインがあるのか、ファシリテーターとして単発で行うだけでなく、経験を積み重ねて、教

	<p>室進行から検討会委員等にステップアップしていくようなキャリアデザインが見えた方が引き受けやすいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人と児童のどちらかしか経験したことがない人は、基礎研修のファシリテーターを経験した方がよいのではないか。基礎研修と更新研修では、受講対象者が変わるのでファシリテーターの心構えも変わってくる。 ・次に、更新研修の検討内容を報告する。今年度は、3回から4回程度、チームで集まって検討した。また、更新研修チームのメーリングリストを使い、意見交換をした。 ・個人ワークを中心とした演習で発表の機会が多かったので、気が抜けず、発表者の意見がいろいろと聞けたのでよかった。来年度、個人ワークを中心とした演習となった場合は、発表の機会を増やす方法がよい。 ・演習はグループワークがよいと感じていたが、更新研修は経験年数が高い受講者が多かったので、必ずしもグループワークでなくてもよい。個人ワークでも振り返りができるし、発表をとおして共有できる。しかし、顔と顔を合わせて話す機会がないと関係性をつくるのは難しいため、グループワークはあった方がよい。 ・受講者がベテランの方が多かったので、こちらの意図を理解し取り組んでくれたが、これから経験の浅い受講者が更新研修を受講するので同様にはいかならないと思う。ファシリテーターが要所所でメッセージを伝えることができるのはよいことなので継続したい。 ・関係機関との連携で自立支援協議会についての重要性を強調したい。動画を参考に「事前に調べてきてほしいだけ」では伝わらない。自立支援協議会をどのように取り扱っていくのか、更新研修チームの中で再考が必要である。実践例があった方がイメージしやすいのではないか。 ・事業所の自己検証では、チェックシートを作成し、検証してきた。今後、チェックシートを継続していく場合は、どのようにチェックシートを作成していくのか解説していく部分が必要である。 ・PDCAサイクルを説明する時間が十分に取れなかったので、時間配分について再考が必要である。 ・講義部分については、動画配信でよいのではないか。聞き逃したところは巻き戻しをして聞くことができるので、メリットが大きい。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研修については、宮田副委員長から報告をいただきたい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研修チームで直接検討する機会が少なかったが、実践研修チームのメーリングリストで検討できたのでよかった。今後はリモートでも行えるとよい。 ・国の研修は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策で動画配信となった。動画が見られない期間があったので検討に入りにくかった。国の研修は、こんな感じでやってくださいというような研修であったので研修内容をイメージしにくい。 ・どのくらいの経験を積んでいる方が基礎研修を受講するかはイメージできるが、どのくらいの経験を積んで実践研修を受講しているのかわからない。来年度、イメージをつくりブラッシュアップしたい。 ・実践研修は、基礎研修と更新研修の実施が始まってから作成している。基礎

	<p>研修と更新研修が共通している内容（モニタリング・地域連携・スーパーバイズ）と新しい視点で学べるものを盛り込みたい。それぞれの研修の内容も年々ブラッシュアップしていくので、教室進行やファシリテーターに参加すると資料は貰えるが、そうでなかった場合は、各チームで情報共有し、文言の使い方等も共通認識していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者に人材育成をどのように教えていったらよいのか。東京都版人材育成のガイドラインを作成していく必要がある。それぞれの研修内容を検討会で共有し、各研修で調整していきたい。 ・現在、演習ノートを作り始めているので3月末までに完成予定。事例作成、進行スライド、講義資料は4月末までに作成し、修正後、5月中旬までに完成予定。その後、動画配信によるリハーサルを行い、修正後、7月中にコロナバージョンによる研修を行うのか否かを検討し、最終的に完成させたい。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で本日の議事について検討を終了したので、閉会とする。 ・今年度で検討委員を終える方々から一言ずつ発言をいただきたい。
犬飼委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から職場を異動することになった。自分の時間を取ることができるかわからないので辞退させていただくことになった。今後も、教室進行等でご協力できることがあれば、声をかけていただきたい。ありがとうございました。
久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに味わったことのない職員の欠員となったので、来年度は現場に入らなければならず辞退させていただいた。今後も勉強をさせていただきたいので、何かの形でご協力したい。
三瓶委員	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の事業拡大のための仕事を担当することとなり辞退をさせていただくことになった。振り返ってみると、受講者のみなさまにサービス管理者の姿について講義をとおして伝えてきたが、実は自分自身に言い聞かせてきたように思う。勉強になり感謝したい。
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この3年間、みなさまの様子を拝見してきて大変なご尽力をいただいたことに感謝したい。今後も福祉の現場にいるので、また、別の形でお会いすることもあるかと思う。お世話になりありがとうございました。 ・事務局に進行を返す。
森下地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"> ・この1年間、これまでに経験をしたことがない事態の中、多忙な業務の合間をぬってご検討いただき、研修を乗り切ることができた。 ・次年度に向けてのご提案等をいただく中で、来年度検討委員を継続できない方も検討委員に限らず、さまざまな形で引き続き研修へのご協力をお願いしたい。吉川委員長をはじめ、各委員の方々にご協力いただいたことに心より感謝申し上げます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の検討会は3月31日までが任期となるのでお付き合いをいただきたい。来年度第1回検討会は5月27日（木曜日）午前中に開催予定 ・本日の検討会議事録（要旨）案を作成し、ご意見をいただいてからホームページで公開となるのでご了承いただきたい。

4 閉会